



朝鮮人大行列記
全

朝鮮人本物修序

朝鮮西ひりれも麗國新瓦西百洪國がら

ひ三國とひりる三韓と補三西とに

國五つらもきつひり國以外位あ

て我朝くもあさるがら又大唐へもむらみ

神功皇后始く三韓と青て日本あさるが

ま後唐のち宋皇帝李勣とりる名將

決りしは

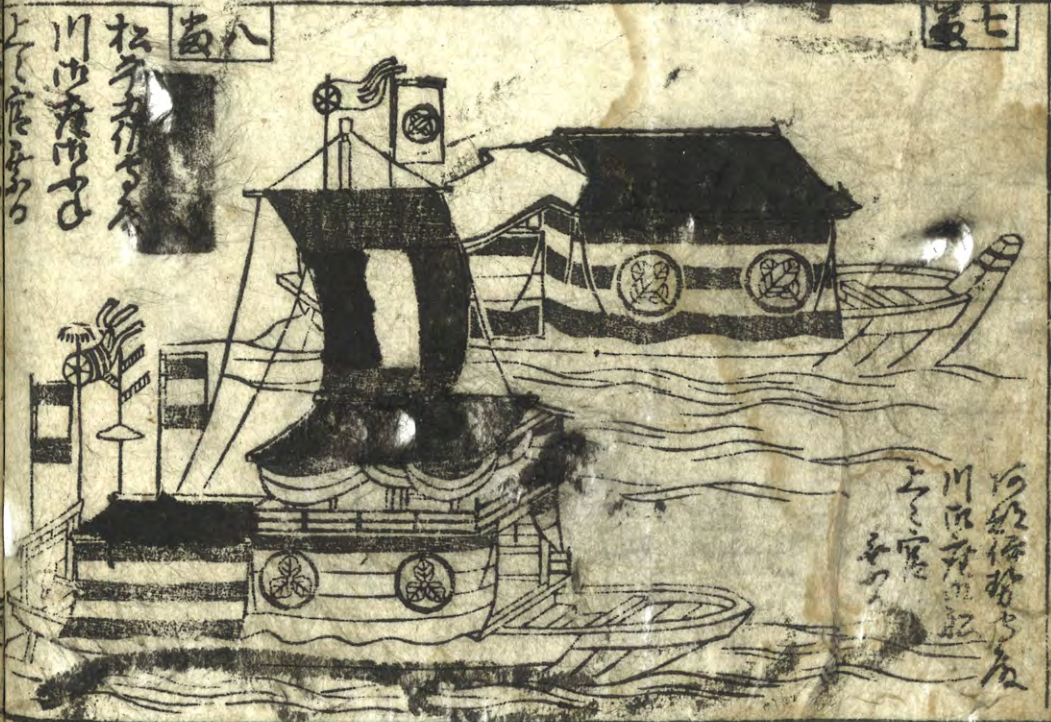
三
 舟はのりちの記伊左九
 三使の舟一三使舟
 三使の舟一三使舟



舟はのりちの記伊左九
 三使の舟一三使舟



七



舟はのりちの記伊左九
 三使の舟一三使舟

八

松平清房
 川内清房

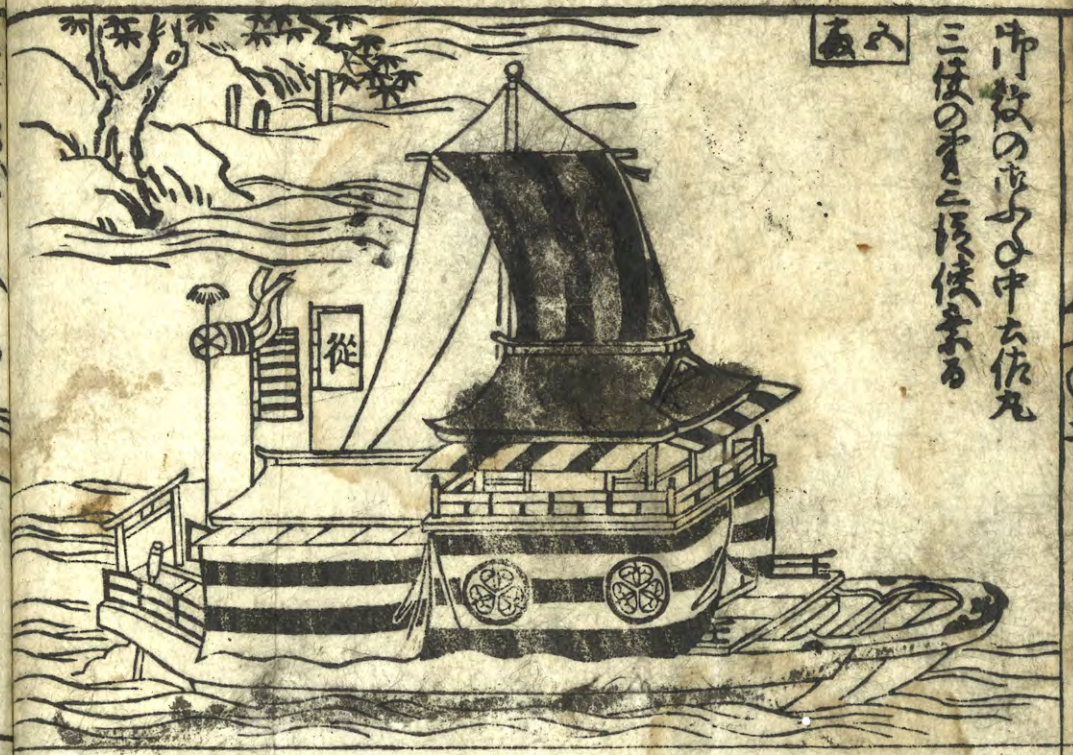
九
 上利寺系ル

十
 小豆系右と打笠屋



五

市役の舟の中六依丸
三任の舟に候使者

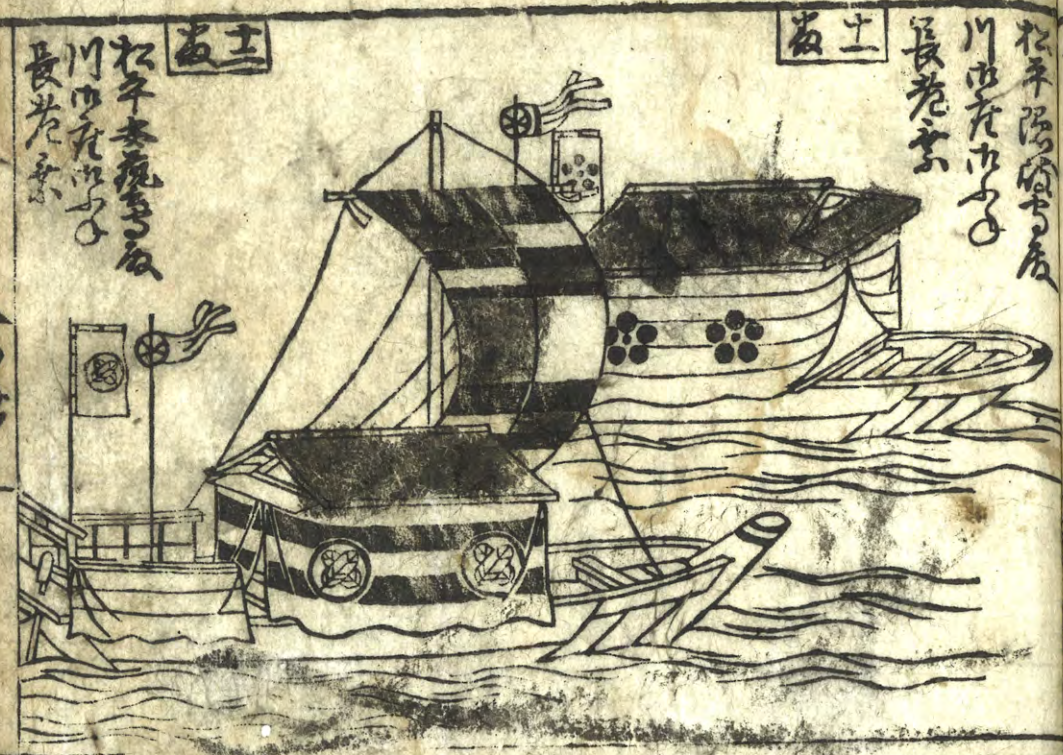


五

松平陽徳舟
川中舟の
長老舟

五

松平長老舟
川中舟の
長老舟

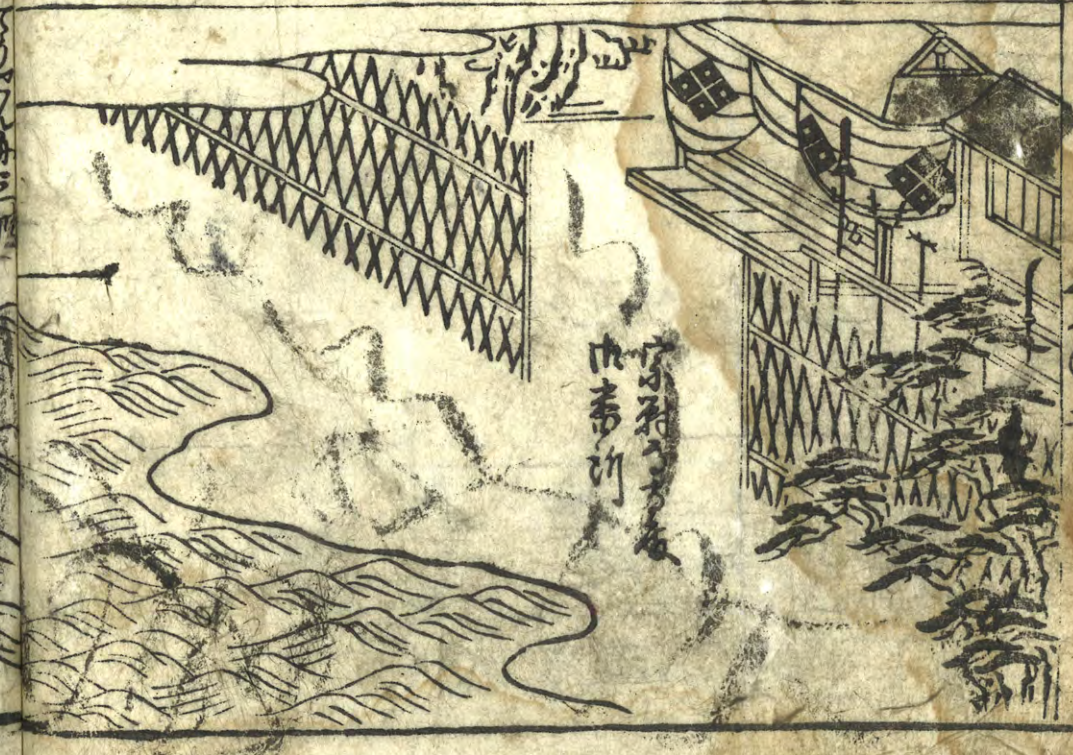


同舟に
舟



大坂川口と舟
舟

舟
舟



朝鮮人來朝年代記

▲人王十六代應神天皇八まん奈 いんじんこうしん
いんじんこうしん 延寧五年いんねいごねん 延寧五年いんねいごねん 延寧五年いんねいごねん
▲人王二十代欽明天王しんめんてん しんめんてん
▲人王廿一代敏達天皇びんたうてん びんたうてん
▲人王卅二代用明天王ようめんてん ようめんてん
▲人王五十九代宇多天皇うたてん うたてん
うたてん 延寧五年いんねいごねん 延寧五年いんねいごねん 延寧五年いんねいごねん
▲天正十八庚寅年てんせいじゅうはちこういんねん てんせいじゅうはちこういんねん

朝鮮人の列次

序
 七十七年
 先帝此のころ
 四年九月十日
 御代
 御代
 御代

▲慶長元丙申年けichoげんげん けichoげんげん
 ▲同十二丁未年どうじふにていみねん どうじふにていみねん
 ▲寛永十三丙子年かんえいじゅうさんへいしねん かんえいじゅうさんへいしねん
 ▲同二十癸未年どうじふにたいみねん どうじふにたいみねん
 ▲明暦元乙未年めいれきげんいみねん めいれきげんいみねん
 ▲天和二壬戌年てんわににじんせうねん てんわににじんせうねん
 ▲正徳元辛卯年せいとくげんしんまうねん せいとくげんしんまうねん
 ▲享保四己亥年きやうほうしよけいねん きやうほうしよけいねん
 ▲延享五戊午年えんきやうごごうねん えんきやうごごうねん
 永寺町 菊登七島



上野新王より種
上宿友傳の者真意
其不と友中宿
下宿字共くいん
運判以上五百人

建仁寺 長老
わひそそそそ

宗村の寺友
九書の内史を
西とさやうもろ
わろそひくし乳

宗村馬守友

大浦若丸友
平田重光友

依まりり
あまき

合勢百余人

坐

は次
老人かたし

朝鮮國の

清江戸上道之程

御遊清大各元

九賦代官元

てんん由

清一まま

久多軍分

宗村馬守友

清一まま

いんま軍分

松浦肥前守友

仍例二仍也

つまき 式人

くら伯 式人

清道種 式人

同 式人

同 式人

さうめん友

いんま

くらり一人



いさよ
ちくせいのつと
松平流おき屋

大寺ま
毒縣
見

わのあまふ
おとれ下のせき

九二重

形名の大さこ

見え

下のせきふ
すまう上のせき
はまお

松平大膳屋

くらん人つて
ひらりりり

上のせきふ
わさのりまうり
松平安流屋

とまふてん奈

休後頼とせり

伊達大猪おき屋

畠山屋

文村屋

びせんのりまふ

十八リ

松平大炊屋

都訓導

上馬

松平大炊屋

松平大炊屋

つのおのりまふ

松平をいぢ屋

松平をいぢ屋

松平をいぢ屋

三穴車

鉄炮之丸

なまきり



ひらりごり
大坂と
十上

西本願寺御堂中
春日道
奥谷中
萩原七郎

休
平方
又

東丹波守
後羽良部

ひり
三
又

よご分
三
又

京本守
三日道

松平英信
小幡十左
南条右

休
大津
三

石川
三
又

偃月刀
二本

長
二本

巡視旗
二本

三
二本

三
二本

令
二本

令
二本

蒨
二本

鉞
二本

鉞
二本



八つん と云り
休

松平統重
小池九郎

八つん
休

今頃と云り
井俣掃部

今頃と云り
休
田中宗

ガウラ

使令 人

炮平 人

淨平 人

細鼓 人

大つん
休

尾張中納言
休

水戸
休

右平
休

古田
休

松平
休

つん
人

細樂 人

鼓打 人

三松都訓導 人

使令 人

三亮平 人

炮平 人

大平
人



あり、右二つあり
 松平をばかす
 竹垣佐々木あり
 わる、松平三作あり
 船に三作は、竹垣あり
 大塚松平、三川あり
 井戸四郎あり
 泉中平次あり
 大塚付、三十七
 体右三つあり
 松平信長あり
 大塚をばかす
 うけ川、四郎あり
 小川新次あり
 平次をばかす
 うる、三十九
 体右三つあり
 大塚松平あり
 大塚をばかす

角半交
 大塚あり
 喇叭半交
 使者
 使者
 使者



大塚松平あり
 大塚をばかす
 大塚松平あり
 大塚をばかす
 大塚松平あり
 大塚をばかす
 大塚松平あり
 大塚をばかす

小童
 使者
 使者
 使者
 使者



体
毛利甲船名
田中八三郎名

加右忠勝名
加右忠勝名

大井八三郎名
大井八三郎名

大谷保光名
大谷保光名

松平信房名
松平信房名

加右忠勝名
加右忠勝名

細川宗女名
細川宗女名

本村玄八良名
本村玄八良名

津島忠房名
津島忠房名

赤松信康名
赤松信康名

東本願寺御堂名
東本願寺御堂名

伊豆修善寺名
伊豆修善寺名

大谷保光名
大谷保光名

心持の
心持の人

馬上才
馬上才

軍官負
軍官負

河書簡
河書簡

國書陪
國書陪

見替人
見替人

書物
書物

寫字官一負
寫字官一負

小童
小童

及唱
及唱

枝空
枝空

及
及

及
及



正使 三使の

屋轎 のり

先使 のり

正使官信名

通政大夫使曹

参議知製教

三使の身一
わげうに
そるまがとと
さひ

世文
のり

名
洪啓喜



秋と拍同派

上馬 六足

雁身 六寸連

虎皮 辛張

豹皮 辛張

人參 五十斤

鮫 六丈

麋 辛牧

鹿 辛牧

右の物解手 つら

上判書 入

使令 入

及喝 入

からる 入



又部二
三使より私命くの
獄上おろしく

大腰子

大綿子

苧布

麻布

黄照布

色紙

法蜜

若蜜

右の

とみく

三月先の

ひな

上友之

日

日

字

家来二人

相

こ

小童

上々官名

子淳
扑僉知人

八人

中

使令

右

小童

右

及唱

右



副使ニ役ニ

屋輻ニ乗

わが人ニなり

くら 日人

副使官位名

通訓太夫弘文

館典ニ知製

教兼

經巡仕

侍講官春秋

館編修黃瓊

大坂子侯すて丸雀の

石川舟中ニ上り

徳大寺名流ニ此老の

此丸船出し以

その名ニくささ令

船のくさりのぬり

まさきふささらりき

ぬき要あるしす

あし未済しぬぬる

あまのつてをふと



御紋

三使のすこ

こきもあげ

くりにあけ

まわると

さけ

世文

く

まり

名

南泰替



上判書ニ入

使令ニ入

及喝ニ入

からるニ入





宗對る方



松平徳信方



松平徳信方



松平大徳方



松平信方



松平義方



松平直方



松平信方

御座御私

御紋 土佐丸

御紋 丸信丸

御紋 中土佐丸

御紋 浪速丸

右に馬一腹より依

馬一腹つて合上糺

こまうかり

小童 上人

上々官名

本深
元金知入

のりの中
八人してく

中名 二人

使令 二人

上言
がうらえ

小童 二人

及唱 二人

上言



後奉 三使の
屋轎乗

わが人
わが人
わが人

後奉 官位名

通判 大夫弘安

館 挾理知割教

兼 経筵 読官春秋

館 記注 李明彦

三使の才

こもあけ

こいなる

まわと

うけ

世中人

いそ

あり

名

曹命来

以上信使



つと 唐人

つと 唐人

つと 唐人

つと 唐人

つと 唐人

つと 唐人

つと 唐人

つと 唐人

つと 唐人

つと 唐人

つと 唐人

つと 唐人

つと 唐人

つと 唐人

つと 唐人

上判 入

使令 入

及 喝 入

及 喝 入

及 喝 入

及 喝 入



一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、
 二十一、
 二十二、
 二十三、
 二十四、
 二十五、
 二十六、
 二十七、
 二十八、
 二十九、
 三十、
 三十一、
 三十二、
 三十三、
 三十四、
 三十五、
 三十六、
 三十七、
 三十八、
 三十九、
 四十、
 四十一、
 四十二、
 四十三、
 四十四、
 四十五、
 四十六、
 四十七、
 四十八、
 四十九、
 五十、
 五十一、
 五十二、
 五十三、
 五十四、
 五十五、
 五十六、
 五十七、
 五十八、
 五十九、
 六十、
 六十一、
 六十二、
 六十三、
 六十四、
 六十五、
 六十六、
 六十七、
 六十八、
 六十九、
 七十、
 七十一、
 七十二、
 七十三、
 七十四、
 七十五、
 七十六、
 七十七、
 七十八、
 七十九、
 八十、
 八十一、
 八十二、
 八十三、
 八十四、
 八十五、
 八十六、
 八十七、
 八十八、
 八十九、
 九十、
 九十一、
 九十二、
 九十三、
 九十四、
 九十五、
 九十六、
 九十七、
 九十八、
 九十九、
 一百、
 一百一、
 一百二、
 一百三、
 一百四、
 一百五、
 一百六、
 一百七、
 一百八、
 一百九、
 二百、
 二百一、
 二百二、
 二百三、
 二百四、
 二百五、
 二百六、
 二百七、
 二百八、
 二百九、
 三百、
 三百一、
 三百二、
 三百三、
 三百四、
 三百五、
 三百六、
 三百七、
 三百八、
 三百九、
 四百、
 四百一、
 四百二、
 四百三、
 四百四、
 四百五、
 四百六、
 四百七、
 四百八、
 四百九、
 五百、
 五百一、
 五百二、
 五百三、
 五百四、
 五百五、
 五百六、
 五百七、
 五百八、
 五百九、
 六百、
 六百一、
 六百二、
 六百三、
 六百四、
 六百五、
 六百六、
 六百七、
 六百八、
 六百九、
 七百、
 七百一、
 七百二、
 七百三、
 七百四、
 七百五、
 七百六、
 七百七、
 七百八、
 七百九、
 八百、
 八百一、
 八百二、
 八百三、
 八百四、
 八百五、
 八百六、
 八百七、
 八百八、
 八百九、
 九百、
 九百一、
 九百二、
 九百三、
 九百四、
 九百五、
 九百六、
 九百七、
 九百八、
 九百九、
 一千、
 一千一、
 一千二、
 一千三、
 一千四、
 一千五、
 一千六、
 一千七、
 一千八、
 一千九、
 二千、
 二千一、
 二千二、
 二千三、
 二千四、
 二千五、
 二千六、
 二千七、
 二千八、
 二千九、
 三千、
 三千一、
 三千二、
 三千三、
 三千四、
 三千五、
 三千六、
 三千七、
 三千八、
 三千九、
 四千、
 四千一、
 四千二、
 四千三、
 四千四、
 四千五、
 四千六、
 四千七、
 四千八、
 四千九、
 五千、
 五千一、
 五千二、
 五千三、
 五千四、
 五千五、
 五千六、
 五千七、
 五千八、
 五千九、
 六千、
 六千一、
 六千二、
 六千三、
 六千四、
 六千五、
 六千六、
 六千七、
 六千八、
 六千九、
 七千、
 七千一、
 七千二、
 七千三、
 七千四、
 七千五、
 七千六、
 七千七、
 七千八、
 七千九、
 八千、
 八千一、
 八千二、
 八千三、
 八千四、
 八千五、
 八千六、
 八千七、
 八千八、
 八千九、
 九千、
 九千一、
 九千二、
 九千三、
 九千四、
 九千五、
 九千六、
 九千七、
 九千八、
 九千九、
 一万、
 一万一、
 一万二、
 一万三、
 一万四、
 一万五、
 一万六、
 一万七、
 一万八、
 一万九、
 二万、
 二万一、
 二万二、
 二万三、
 二万四、
 二万五、
 二万六、
 二万七、
 二万八、
 二万九、
 三万、
 三万一、
 三万二、
 三万三、
 三万四、
 三万五、
 三万六、
 三万七、
 三万八、
 三万九、
 四万、
 四万一、
 四万二、
 四万三、
 四万四、
 四万五、
 四万六、
 四万七、
 四万八、
 四万九、
 五万、
 五万一、
 五万二、
 五万三、
 五万四、
 五万五、
 五万六、
 五万七、
 五万八、
 五万九、
 六万、
 六万一、
 六万二、
 六万三、
 六万四、
 六万五、
 六万六、
 六万七、
 六万八、
 六万九、
 七万、
 七万一、
 七万二、
 七万三、
 七万四、
 七万五、
 七万六、
 七万七、
 七万八、
 七万九、
 八万、
 八万一、
 八万二、
 八万三、
 八万四、
 八万五、
 八万六、
 八万七、
 八万八、
 八万九、
 九万、
 九万一、
 九万二、
 九万三、
 九万四、
 九万五、
 九万六、
 九万七、
 九万八、
 九万九、
 十万、
 十万一、
 十万二、
 十万三、
 十万四、
 十万五、
 十万六、
 十万七、
 十万八、
 十万九、
 十一万、
 十一万一、
 十一万二、
 十一万三、
 十一万四、
 十一万五、
 十一万六、
 十一万七、
 十一万八、
 十一万九、
 十二万、
 十二万一、
 十二万二、
 十二万三、
 十二万四、
 十二万五、
 十二万六、
 十二万七、
 十二万八、
 十二万九、
 十三万、
 十三万一、
 十三万二、
 十三万三、
 十三万四、
 十三万五、
 十三万六、
 十三万七、
 十三万八、
 十三万九、
 十四万、
 十四万一、
 十四万二、
 十四万三、
 十四万四、
 十四万五、
 十四万六、
 十四万七、
 十四万八、
 十四万九、
 十五万、
 十五万一、
 十五万二、
 十五万三、
 十五万四、
 十五万五、
 十五万六、
 十五万七、
 十五万八、
 十五万九、
 十六万、
 十六万一、
 十六万二、
 十六万三、
 十六万四、
 十六万五、
 十六万六、
 十六万七、
 十六万八、
 十六万九、
 十七万、
 十七万一、
 十七万二、
 十七万三、
 十七万四、
 十七万五、
 十七万六、
 十七万七、
 十七万八、
 十七万九、
 十八万、
 十八万一、
 十八万二、
 十八万三、
 十八万四、
 十八万五、
 十八万六、
 十八万七、
 十八万八、
 十八万九、
 十九万、
 十九万一、
 十九万二、
 十九万三、
 十九万四、
 十九万五、
 十九万六、
 十九万七、
 十九万八、
 十九万九、
 二十万、
 二十万一、
 二十万二、
 二十万三、
 二十万四、
 二十万五、
 二十万六、
 二十万七、
 二十万八、
 二十万九、
 二十一万、
 二十一万一、
 二十一万二、
 二十一万三、
 二十一万四、
 二十一万五、
 二十一万六、
 二十一万七、
 二十一万八、
 二十一万九、
 二十二万、
 二十二万一、
 二十二万二、
 二十二万三、
 二十二万四、
 二十二万五、
 二十二万六、
 二十二万七、
 二十二万八、
 二十二万九、
 二十三万、
 二十三万一、
 二十三万二、
 二十三万三、
 二十三万四、
 二十三万五、
 二十三万六、
 二十三万七、
 二十三万八、
 二十三万九、
 二十四万、
 二十四万一、
 二十四万二、
 二十四万三、
 二十四万四、
 二十四万五、
 二十四万六、
 二十四万七、
 二十四万八、
 二十四万九、
 二十五万、
 二十五万一、
 二十五万二、
 二十五万三、
 二十五万四、
 二十五万五、
 二十五万六、
 二十五万七、
 二十五万八、
 二十五万九、
 二十六万、
 二十六万一、
 二十六万二、
 二十六万三、
 二十六万四、
 二十六万五、
 二十六万六、
 二十六万七、
 二十六万八、
 二十六万九、
 二十七万、
 二十七万一、
 二十七万二、
 二十七万三、
 二十七万四、
 二十七万五、
 二十七万六、
 二十七万七、
 二十七万八、
 二十七万九、
 二十八万、
 二十八万一、
 二十八万二、
 二十八万三、
 二十八万四、
 二十八万五、
 二十八万六、
 二十八万七、
 二十八万八、
 二十八万九、
 二十九万、
 二十九万一、
 二十九万二、
 二十九万三、
 二十九万四、
 二十九万五、
 二十九万六、
 二十九万七、
 二十九万八、
 二十九万九、
 三十万、
 三十一万、
 三十二万、
 三十三万、
 三十四万、
 三十五万、
 三十六万、
 三十七万、
 三十八万、
 三十九万、
 四十万、
 四十一万、
 四十二万、
 四十三万、
 四十四万、
 四十五万、
 四十六万、
 四十七万、
 四十八万、
 四十九万、
 五十万、
 五十一万、
 五十二万、
 五十三万、
 五十四万、
 五十五万、
 五十六万、
 五十七万、
 五十八万、
 五十九万、
 六十万、
 六十一万、
 六十二万、
 六十三万、
 六十四万、
 六十五万、
 六十六万、
 六十七万、
 六十八万、
 六十九万、
 七十万、
 七十一万、
 七十二万、
 七十三万、
 七十四万、
 七十五万、
 七十六万、
 七十七万、
 七十八万、
 七十九万、
 八十万、
 八十一万、
 八十二万、
 八十三万、
 八十四万、
 八十五万、
 八十六万、
 八十七万、
 八十八万、
 八十九万、
 九十万、
 九十一万、
 九十二万、
 九十三万、
 九十四万、
 九十五万、
 九十六万、
 九十七万、
 九十八万、
 九十九万、
 一百万

小童 七人
 上々官名
 大年
 洪愈知人
 のりゆやく
 八人
 中名 二人



通詞頭 三人
 天彦寺 七人
 宗尉馬守殿家老
 枝村大務五
 宗尉馬守殿家老
 枝村大務五
 宗尉馬守殿家老
 枝村大務五

学士 七人
 醫師 七人
 判事 七人
 醫師 七人
 寫字官 七人
 枝藏 七人



惣御

常尉馬守殿

弓 三千張

鉄炮 三千十

同 一騎儀多し

同 三十為

同 一騎儀多し

同 一騎儀多し

同 一騎儀多し

同 一騎儀多し

同 一騎儀多し

同 一騎儀多し

同 一騎儀多し

書記 二人

曲樂 六

伴備 六

同 一騎儀多し

同 一騎儀多し

同 一騎儀多し

同 一騎儀多し

同 一騎儀多し

同 一騎儀多し

同 一騎儀多し

同 一騎儀多し



柁 朝鮮國我新入あるがひ 事人五十に代の

帝 仲哀天皇は清宮より徳敷とらへるあびとむの

今 今あつて久天皇は川よりあふりまきし

長門の西を浦にまよはれし大伴武持長内宿禰

に命じて徳敷と討つるをわたり右あつてあつ

徳敷よりあつてあつてあつてあつてあつてあつ

徳敷のひはゆれ小歌あつてあつてあつてあつ

あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつ

あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつ

あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつ

後醍醐天皇の御時日本とせり人し教万誘れ軍兵と
流とて人しとも日本此海と人しともいふや幸あ
波風とげしを起りてとくくまよふてなまされて
引わりの御代とて次は御代御代の威徳なりと
西軍の御代とて其御代の人とていふもいふもいふも
御代とて御代の中も其御代の人とていふもいふも
いととて人しとくくいしゆらとて御代の人とていふも
よりて御代の人とて御代は御代御代とていふも
なりとて御代とて御代とて御代とて御代とて御代
是とて御代とて御代とて御代とて御代とて御代

ありて御代とて御代とて御代とて御代とて御代
任那といふ御代とて御代とて御代とて御代とて御代
文伴 後平彦とて御代とて御代とて御代とて御代
任那 西とて御代とて御代とて御代とて御代とて御代
紫部 天とて御代とて御代とて御代とて御代とて御代
いそとて御代とて御代とて御代とて御代とて御代
まこととて御代とて御代とて御代とて御代とて御代
のそとて御代とて御代とて御代とて御代とて御代
とて御代とて御代とて御代とて御代とて御代
御代とて御代とて御代とて御代とて御代とて御代

ふりて西ひひまらるる山と云はけ作月姫の社と云
今ふととまらるる又作月姫れひれうきをゆりて
石とたり今よわりその七魂新羅人源と云ひ傳
ゆり作月姫の事其西人むらうゆらうる今よ
と云やそは飲明天皇れ神宮に新羅を築ひし川
ありそ西海倭郡と書あられ八百甲らり腰后巴控被
とらるものそ方おとて西海倭郡れ加保すつる
けらる新羅を築りり多るの虎と出やうけく
せあそく久腰みとさうむおどらうどむひまらる虎の
細らび中ひうらおとて或る虎ふひらうきとら

雲のりりさう、あたらう、カ名をれと書西人おゆらふ
おどられつらう、日とて席伏と書うきと書と書か
らひ御と書まれと書倭月おりづらりり
又校と書と書おとてうらうの攻と書校と書と書
三月も麗れ五と書之礼と書日め戦と書るらと書
ど俄と書まねと書出と書北と書國の強と書并と書校と書
拘と書らとて天と書ふと書げと書る是と書よりと書校と書
美の事と書朝鮮と書て鬼と書と書守と書て馬と書おの
と書やひと書西海五使者と書献と書て文と書の佛と書并と書佛
と書と書る是我と書新と書と書ぶと書と書れと書ゆりなり

治平よりいひゆるらんわりのと我朝よりあてられ御事
 わりお帯りあしむる来朝とあんな度長は御事
 津よりひびくを有り物も若くは女と長く有りといふ
 今も大納例記のうしく空あらせおもちがひいれあき
 せはくさくさくあつりつらあつれはひひあきなり
 あん又あつりく入河あくさみおえなりは長谷あき
 △あお遠仕のう有とら極平はあきとせ長とら
 あくお改てりいひあきあきと

延享五年

戊辰正月吉日

京寺町松原上ル町

菊屋七郎左衛門

大納例記
 延享五年
 正月吉日
 京寺町松原上ル町
 菊屋七郎左衛門

